

報道関係者 各位

2022. 9. 5
<配信枚数2枚>**大学院生が最新の研究成果を発信
BKC ライスボールセミナーのご案内**

開催日：2022年9月13日（火）、9月27日（火）、10月4日（火）、10月18日（火）、11月1日（火）

立命館大学は、大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、昼食の時間に軽食をとりながら、参加者と自由にディスカッションを楽しむ、「BKC ライスボールセミナー」をオンラインで開催いたします。

ライスボールセミナーは、2007年に教職員の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者育成の取り組みの一環として、年間を通して定期的に開催しています。

各テーマに興味がある方をはじめ、大学で展開する研究内容や研究の面白さ・魅力を知りたい方のご参加をお待ちしております。

記

(1)「視覚の再獲得に向けて」

日時：2022年9月13日（火） 12:20～12:50

(2)「消化管を守る」

日時：2022年9月27日（火） 12:20～12:50

(3)「脳梗塞後のリハビリテーションが機能回復を促進する機序を解明する」

日時：2022年10月4日（火） 12:20～12:50

(4)「脈波を制御する」

日時：2022年10月18日（火） 12:20～12:50

(5)「誰でも使える医療教育用シミュレータ」

日時：2022年11月1日（火） 12:20～12:50

※詳細は別紙をご覧ください。

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

対 象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料、事前申し込み制 ※当日参加可能

参加方法：下記 URL より、参加登録のうえご参加ください。

<https://bit.ly/brs2202>共 催：立命館大学総合科学技術研究機構、立命館大学 BKC 社系研究機構、
立命館グローバル・イノベーション研究機構

以上

本リリースの配布先：草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス ライスボールセミナー事務局 担当：王

TEL. 077-561-2802

別紙

<ライスボールセミナー内容> ※プログラムは変更になる場合がございます

(1)「視覚の再獲得に向けて」 <見えないはずの光が見える謎>

研究紹介： 盲目の患者さんは、しばしば視界がチカチカする光視症の症状を訴えます。なぜ、盲目なのにも関わらず、視界がチカチカするように知覚するのでしょうか？本研究では、眼球の底に存在する網膜における光視症の発生メカニズムを研究しています。

登壇者： 薬学研究科 堀江 翔【専門:神経科学】

(2)「消化管を守る」 <腸って、想像以上に超荒れてますよ！>

研究紹介： 薬は期待される主作用の反面、副作用として消化管に対する障害が問題となっています。そこで、薬による消化管障害の病態解析を行うとともに、安全で適切な薬物療法の提案を目指し研究を行っています。

登壇者： 薬学研究科 上南 静佳【専門:消化管病態学】

(3)「脳梗塞後のリハビリテーションが機能回復を促進する機序を解明する」 <脳梗塞後、生き残った領域が失われた脳の機能を肩代わりする！>

研究紹介： 脳梗塞などによって一度傷害された脳の神経細胞は再生能力に乏しく、その領域が担っていた機能が失われ、運動麻痺などが後遺症として起こります。リハビリテーションがどのようにして失われた機能回復を促進するのかを明らかにすることを目指しています。

登壇者： 生命科学研究所 山口 菜摘【専門:病態神経科学】

(4)「脈波を制御する」 <脈波って実は自分でコントロールできちゃうんです！>

研究紹介： 本研究は、血圧を計測するときに用いるカフを上腕に巻いて空気圧で圧迫することで脈波を制御する研究です。実際に上腕を圧迫するデバイスを作成して、デバイス装着者が思うように脈波制御できる手法を実現しました。

登壇者： 情報理工学研究所 吉田 航輝【専門:ウェアラブルコンピューティング】

(5)「誰でも使える医療教育用シミュレータ」 <IT 技術の力で、一見難しそうな医療教育をハックできるよ！>

研究紹介： 現在、普及している医療教育用のシミュレータの多くは人間の構造を模擬した一種のマネキン人形であり、学習効果が低いことが指摘されています。そこで、本研究においては、IT 技術を用いて、シミュレータを拡張することで安価かつ高性能なシミュレータを実現しています。

登壇者： 情報理工学研究所 西本 騰【専門:医療シミュレータ】